

日光市文化会館等あり方検討市民委員会 議事録

件名	第3回日光市文化会館等あり方検討市民委員会		
日時	令和4年11月28日(月曜日) 16:00~17:30	作成日	令和4(2022)年12月2日
場所	日光市役所本庁舎 2階 中会議室 201	記録者	資産経営課 江連 嘉一
出席者			
<p><日光市></p> <p>鈴木和仁財務部長 松本孝財務部参事兼財政課長 手塚克英生涯学習課長 高橋英樹商工課長 小松竜也観光課長補佐 高梨一己中央公民館館長 石崎貴久中央公民館公民館係長 高野充博資産経営課長補佐 資産経営課公共施設マネジメント係職員</p> <p><総合アドバイザー></p> <p>東京都立大学 客員教授 山本 康友 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 コンセプト・デザイン室長 西尾 真治</p>		<p><出席委員></p> <p>高橋 満(委員長) 和久 文子(副委員長) 岸野 稔 庄田 哲康 高橋 祐也 小栗 卓 八木澤 哲男 篠原 久生 小野田 栄二 宮脇 強志 大藤 美由紀 堀田 要</p>	
(敬称略)			

議事内容

■配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料1-1 文化会館あり方検討の状況について
- ・ 資料1-2 新文化会館整備の今後の進め方について
- ・ 資料1-3 今後の検討スケジュールについて
- ・ 資料2 付帯施設の検討について
- ・ 資料1-3 文化会館検討資料(第2回配布資料)

■議事録

1. 開会

2. 委員長あいさつ

委員長(議長)

「皆さんこんにちは。お疲れ様でございます。今日も議事進行を務めさせていただきますが、忌憚のないご意見をいただき進めていければと思います。暑さ寒さも激しくなってきましたので、健康には気を付けていただきますようお願いいたします。」

3. 議事

委員長（議長）

「それでは、早速議事に入りたいと思います。現在出席をいただいております委員の数は、15名中「12」名で、定足数に達しており会議は成立いたします。」

（1）第1回委員会での主な意見及び対応について

（2）付帯施設の検討について

委員長（議長）

「それでは、これより会議次第に基づき議事に入ります。（1）新文化会館整備の方向性について事務局より説明をお願いします。」

事務局

「それでは、文化会館等あり方検討の状況について説明いたします。資料1-1をご覧ください。

この資料は、これまでの検討状況をまとめたものになりまして、11月8日の市議会全員協議会で使用したものになります。1文化会館等のあり方検討の進め方から裏面、2ページ目の4第3回市民委員会の内容までは、皆さんご存じの内容となりますので、説明を割愛させていただきます。下段の5市民委員会開催結果を踏まえた特別委員会での協議をご覧ください。第2回市民委員会においては、文化会館を1か所に集約することを前提に新文化会館の建設は必要であるとの合意形成が図られた結果を踏まえ、市としては新しい文化会館を建設したいとしたうえで、市議会の特別委員会と協議を行いました。

その結果、特別委員会においても新文化会館の建設について合意形成が図られたことから、市議会議員全員協議会でこれまでの協議内容も含め結果を報告させていただいたところになります。

続きまして、資料1-2をご覧ください。新文化会館整備の今後の進め方についてご説明します。市としての新文化会館整備の考え方としては、長期的視点にたち、文化会館を将来にわたり市民利用のみならず、日常的に利用される施設とするため、観光誘客や産業振興、地域交流機能との複合化を検討してまいります。また、整備地や規模の選定に当たっては、複合化する付帯施設の内容が大きく影響することから、まずは、新文化会館に適合する複合施設の提案を業務委託により実施し、付帯施設の検討を進めることとしたいという考えです。これらの考え方を特別委員会でお示しし、今後の進め方について協議を行いました。

特別委員会委員からは、中央公民館のあり方についても同時に検討する必要がある。必要な施設機能について、取りこぼしの無い精査をお願いする。公共施設マネジメントの中で、老朽化等で問題になると思われる施設を把握し、それらの施設とすり合わせを行い必要な施設を組み込んでいく検討をお願いしたい。人件費や資材価格の高騰、長期的な管理運営費などの財政面での課題にも注視されたい。

パブリックコメント実施のタイミングなど、スケジュールについては市民の混乱が生じないように十分に精査されたい、などの意見をいただきました。

これらの意見を踏まえ、まずは、令和5年2月を目途に複合施設の選定や整備に関する基本的な考え方を整理することとし、求める機能や規模等具体的な事項につきましては、令和5年度に基本構想を策定する中で整理してまいりたいと考えております。

最後に今後の検討スケジュールについてご説明します。資料1-3をご覧ください。※に記載がありますとおり、このスケジュールは、現時点で想定したものですので、今後の進捗によって変更となる場合があります。今年度は、本日の第3回の市民委員会のおと、第4回は来年の2月ごろの開催を予定しております。令和5年度については、先ほど申し上げました基本構想を策定するための支援及び民間活力導入調査の業務委託費を計上し、その業務委託の結果を示しながら検討を進めていく予定としております。

説明は以上でございます。」

委員長（議長）

「ただいまの説明内容につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。」

委員A

「2月頃を目処にざっくりとどんなものを造るかを決めて、場所を決めて、中の細かいものについては（令和）5年度中に考える流れである。2月に場所を決めた後に（令和）5年度に場所は動かさないよということで、追加で「あれがあればよかった」「これがあればよかった」となっても変更できないというイメージでよろしいでしょうか。」

事務局

「今回検討していく内容は、あくまでも複合施設は何かというところでございますので、それによってどこかというところは、令和5年度に基本構想の中で考えていくので、基本構想で今、想定しておりますものは、それほど具体的なものではなくて、日光市の文化会館は、こういう複合施設の備わったこういう感じのもというイメージとして湧くようなものを構想として令和5年度にまとめていきたいと考えております。」

委員B

「資料1－2の今後の考え方という枠の中のところで、今の今市文化会館には、ホールに関連する控室はあってもホールしかない状況ですよね。文化会館の複合施設というイメージが具体的に湧かなくて、その複合施設が会議室などであれば分かるのですが、そこに、観光誘客ですとか産業振興というような、いきなり文化とは違うような観光目的であったり産業振興であったりというものを全部複合ということで、ジャンルの違うものを複合する必要があるのか。そこを考えると文化施設ではなくなってしまうような気がしたのですね。」

例えば、産業振興であれば、日光街道ニコニコ本陣が地域の物品を扱っている施設で商業施設のような感じもしますし、そこが道の駅にもなっているので観光誘客にもなっているのではないかと思いますのですが、そこにまた、文化会館をどうするかという中に同じようなものを付帯してしまうと、余計に大きな規模で余計に色々なものが嵩んできたりするというものをまた考えてしまうと、今、老朽化して問題が重なっているものを新しく造るために、また先延ばしで考えもまとまらずとか、民間の施設で行ってくれるところが減ってしまったりとか、本来の文化会館機能を考えるべきではないのかと思います。そこに産業とか観光とか、観光はもともと日光の町並みなど観光はそれなりにあると思うのですが、文化会館の新設のための話なのに、わざわざ観光目的、産業目的のものを付帯してしまうと、文化会館というものが崩れてしまうような考えになってしまうのではと思ったので、まずは、文化会館で行っている行事ができないかもしれないということに直面しているので、文化会館を新しくすることだけで考えてはどうなのかと思います。

違う施設を造るような話になっているのではないかと思いますのですけれども、日光総合会館や藤原総合文化会館のような何かをやるためのホールがなくなってきているということに対してホールを造るかどうかを話し合っている委員会であると思っていたのですが、そこに観光とか産業とか全く別の施設を改めて考えると、文化会館の整備が薄れてしまうのではないかと思います。」

事務局

「いくつか文化会館に関しての考え方がありまして、文化会館のようなそれなりの規模の施設となりますと、造る費用に加えて、運営していく費用も掛かってくる施設ということになります。そこに収益的な施設を付帯することによって文化会館を今後何十年と支えていく市民の負担をいくらかでも軽減できると

いう考え方がひとつございます。

そして、今の文化会館の現状は、ホールで催し物をやっているときはお客様に来ていただけると思うのですが、平日は、お客様があまり来られてない施設ということで、せっかく大きな建物を造るのであれば、市民の方や日光市に来られるお客様にも一緒に使ってもらう。その施設を普段から使ってもらうことで文化会館において開催される催し物の周知にも生きてくると思いますので、よりホールが活用されていくということも考えられると思います。

確かに、皆さまにお集まりいただいている趣旨は、文化会館をどうするかというところで、文化会館本体に関する議論が主であるのですが、その施設の運営面を考えるとこのような視点は外せないのではということで考えてございます。複合施設に関しましては、今のところ2月までの中で道筋を付けたいと考えてございます。それなので、基本構想やその先のスケジュールに影響が出ないように考えていきたいと思っております。」

委員C

「観光誘客って文化会館に本当に必要ですかね。資料1-2を見ると、観光誘客、産業振興、地域交流の3本柱があり、それを決める話し合いなのでしょうけれども、文化会館はそもそも地域の方のものであると思っておりますので、そこで観光誘客のテイストが必要なのかと思います。日光市はこれ以上ない観光都市ですからね。そこで今市地域で観光客を呼びたいということであるなら分かるのですが、そもそも日光市民の文化レベルの維持のために文化会館が壊れそうだから新しくしましようというスタートですから、ここに普段使っていないところにお客さんを呼ぶための観光のテイストは必要なのかなと私は少し疑問に思います。

それであれば、ひとつの例なのでありますが、例えば、栃木市は市役所が東武百貨店の中に入っていると思うのですが、そういった商業施設とのコラボレーションのようなかたちで、例えば今市のイオンと一緒にやるというようなかたちで、普段は地元のお客様が使って土日のイベントも地元のお客様が使う。そういった方が、地域のためになるのではないかなと思います。

少なくとも私は、3本柱の観光誘客という視点は必要ないのではないかなという意見です。」

委員D

「今、委員Bと委員Cがおっしゃったように、私も必要ないという風に感じます。資料1-2の中に「あの施設を組み込んでおけばよかったとならないよう」の逆があると思うのですね。「あの施設を入れなければよかった」ということで、基本路線が文化会館をどうするのかという話なので、もう少し文化面の話をさせていただきたいと思います。観光誘客、産業振興、地域交流は、どこに造るかによって必要になるから。逆の考え方ですと、それを造りたいからとなると、場所が逆に限定されてしまうと思うのですね。観光に関する考え方が日光地域と今市地域との考え方に差があるのかなと思います。日光地域の場合は、ついでに観光施設を造ってほしくないという意見が多分多いと思います。ちゃんと調べたわけではないので正確にはわかりませんが、その辺のことからも、もう一度考えてもらいたいと思います。」

委員E

「藤原地域といえば観光というところもあるのですが、藤原総合文化会館の検討専門部会においても、（跡地利活用の検討の中で）メンバーの中には、そうではない方針を伝えられる方も多数いるのですよ。今日の資料を見ていて絶対にこの話が出るなと思いました。観光業に携わっている人は結構やったほうが良いと思う人が多いのですが、そうではない人からするとなぜ観光業なのというのは至極真っ当な話であると思うのですよ。行政としては、税金などを使って建て

るので、観光を入れるのであれば、観光業ではない市民の皆さんの理解を得てから取り組まないと、観光ではないという意見が多いと思います。委員Bがおっしゃったように、まずは文化会館そのものをきちんとしてくれというように。このようなことをやるのであれば、こういう理由でとかでもっと深く理解を得てからではないと難しいのではないかと思いますし、観光事業者とそうではない方の対立のようなかたちになってしまうことも嫌ですし、きちんと市民の皆さんの理解を得ていただきたいなと思っています。」

委員F

「もともとの文化会館の使い方とすれば、今市や藤原の文化会館といえば、例えば、有名な歌手を呼んだりとか芝居をやったりだとか、そういったかたちでお客様を集客しながら旅館に泊めるだとか、そのようなことをやってきた経緯もありますので、今の今市の会館の使い方を見てもコンサートをやることでお客様を集めたりということをやっておりますので、そういった中で考えていただければ市民の皆さんが使うものと観光に携わるものが同じような考え方になっていくのではないのかなと思います。」

委員G

「今までの議論を聞いておりますと、資料1-2の文章は2つに分かれるのかなと思うのですね。1番目の観光誘客とか産業振興とか地域交流とかは、機能についてなのですよ。ここで言っているのは、例えば、今混乱がありますけれども、ホールに観光客を呼ぶとかそういう風なものではないと私は思うのですね。2番目に書かれているのは、ホールに加えて何らかの付帯施設をそこに付属させるという風に考えられるのかなと思うのですね。

1番目に書かれている方は、ホールがあって観光客などの団体が来たときにそのホールを利用して、例えば説明をするだとかそういう風な機能を持たせるということ。産業振興であれば、会議所のような団体がたくさん集まったときにそれを利用できる。そういう風に考えられるのかなと私は思っているのですね。この資料については、ホールに何かを飾ってお客を呼ぶとかそうふう風なものを考えているのではないのかなと思うのですね。ですから、1番目の方は機能なのですよ。観光で来たときに何らかのかたちで利用できるとか、そういう風に考えて文章を作っていると私は考えるのですが。

2番目については、まさに付帯施設ですよ。今市の文化会館のように、横に中央公民館があるとか、そういう風なものをイメージして書いているのかなと私は思うのですね。

ですから今までの議論の中では、栃木市のことがありましたけれども、そのようなものを考えているのではなくて、1番目の内容が機能で2番目の内容は施設だということで、補助金の問題や色々なことがあるのだとは思いますが、その辺で整理できるのかなと思います。1番上の文章はよくわからなかったのですが、「市民利用のみならず日常的に利用される施設」ではなく、「日常的に利用される施設とするため、市民利用のみならず…」という表現になるのかなと思います。

事務局

「委員Gのおっしゃるとおりで、言葉足らずな面があり、混乱を生んでしまい申し訳なかったと思います。観光業に携わる方にもその誤解がもとで変な方向に行ってしまったら申し訳ないので文章は訂正させていただければと思いますが、あくまでも、文化会館が主であって、日常的に使われるために何かの付帯機能を付ければそれだけ収益が上がるようなものがあれば、ランニングコストの軽減にも繋がるし、もしかすると整備費を含めて民間に賄ってもらえる可能性があるということで、可能性の段階で様々な選択肢を用意している状況です。例えば、市議会にお話をしたときに議員から、今の日光市にはないMICEが誘致できる国際会議場のような機能があった方が良いのではという意見が出たこともあります。それなので、委託をかけながら何が適切なのか検討していきたいと思っています。ただ、文化会館の本旨は文化ですので、そこについては揺るぎませんが、そこをいかに日常的に使うためにどのような付帯施設を付け加えた

ほうが良いかということで、委託をかけながら今後検討して、市民委員会の中でもご意見をいただきながら整理していきたいという流れですので、これが確定ではありません。やはり文化に特化した施設であるべきだよねという整理が生まれることもありますし、今後のランニングコストを考えれば、日常的に利用できる施設も設置することによって収益性を高めるという選択もある。後は、市民交流のために今市文化会館と同じように中央公民館と併設すべきだとか、図書館の老朽化が進んでいるのであれば、図書館と併設すべきだとか、そのような答えも出てくるかもしれませんが、様々な選択肢があることを用意ことでこの表現になっておりまして、変な誤解を与えてしまい申し訳ありません。」

委員長（議長）

「ありがとうございます。事務局の方では、言葉の修正という答えをいただきました。基本的には、文化会館というものを第1に考える。それに対して委員Gがおっしゃるように、あくまで機能的なものに対しての付帯施設をもう少しこの委員会で詰めていきたいと思えます。」

委員D

「この手の話になると、日光街道ニコニコ本陣が浮かんでしまう。使いやすいかと言われると我々からするとちょっと使いづらい施設。結局、複合施設が周りにあること自体が文化会館を使いたい側からすると少し邪魔なものに見えてしまったりするわけですね。ただ、収益ですとかその辺を考えると致し方がないのかなと思えます。ただし、複合施設があるが故に文化会館が使いづらくなったのでは元も子もないと思えますので、その辺は、この委員会でも検討していただきたいところです。」

事務局

「まずは方向性を定めた上で、使いづらいとか、音響をどのようなものを入れたほうが良いだとかのご意見については、改めて来年度に業者に委託をかけたいと思えます。その中で、ご意見を伺いながら整理していくという風に考えておりますので、まずは方向性を決めた上で、来年度、今のような配慮をしながら基本構想を作っていくと考えております。」

委員H

「今の説明によりますと付帯施設、商業施設を造って、収益を得ることによって文化会館の費用を賄っていくという考えもあるような説明でしたので、どちらでも構いませんが、ちゃんとした方向性を出していただきたいと思えます。」

事務局

「それを2月までに整理しようと考えております。委託をかけながら、複合化の是非も含めて、今後の収益を考えて何かの付帯施設を入れるのかという是非も考えながら一番優位な選択は何なのかというのを探っていきます。2月までに委託事業者に分析していただき、その結果を市民委員会に提示しご意見をいただいた上で、特別委員会で協議するというスケジュールで考えているということです。意見が割れる案件にはなると思えますので、状況によっては引き続き協議を行っていく可能性もありますが、このスケジュールで進めてまいりたいと思えます。」

委員A

「特別なときにしか使用されない文化会館に対して日常的に使うことのある施設を併設するとなると、逆に日常的に使っている人がいるから特別な日には使えないですよというようなことが起きてしまいます。日光街道ニコニコ本陣のニコニコホールを例に上げれば、道の駅と併設しているため、日常的に利用するお客様で駐車場が埋まっているため、ホールを利用するお客様の駐車場がなく、コンサートなどの有料公演もできないなどと言われ続けています。ならばホール利用者優先でとなると、カラオケ大会があっ

たときに朝の6時から夕方まで参加者の車が停まったままの状態になってしまい、商業施設を利用したいお客様が利用できない状態となってしまいます。

例えば、800席のホールを造り、日常的に利用するお店と併設して駐車場を800台用意したとして、平常時は、100台しか使われていないとなると、こんなに大きな駐車場は無駄なのではという話が上がってきます。逆に文化会館を使う日に満車になるようなことがあった日には、お店を全く利用できない。それなら、駐車場を1,000台造ると普段は100台しか使われていないというループが生まれてくるかと思えます。個人的な理想としては、文化会館が日常的に使われていること。催しがなくてもこのような会議などで、日常的に文化会館に入っていることが第1の理想だと考えています。コンサートや催し物など、特別なことを行う場所が日常的にそもそも使われる必要があるのか。日常的に使っていないといけない場所になってしまうのかという考えもありますので、文化会館は単体か、今の中央公民館のような文化施設、公民館、会議室、図書館だとか、あくまで、文化会館を主とした文化的な複合施設で考えてほしいと思います。観光施設や商業施設を併設すると、そこを目的として来る人たちが日常的には多いので、特別な場所である文化会館が使いづらくなってしまおうと考えております。

委員B

「事務局は、付帯施設があって収益を得られればいくらかでも運営の足しになるのではないかという言われ方をしたのですが、仮に、文化会館に併設する施設が中央公民館だった場合は、収益を得られないですよ。施設としての使用料が入ってくるのは分かります。結局は、誰が一番使っているのかということ、文化会館も中央公民館も市民が使っていますよね。合唱やサークル活動などで、使用料を払いながら使っているというのが実態だと思うので、このようなところを観光客が使うのは考えられないと思うのですよね。日常的に使うのは、やはり市民だと思うのです。そうすると、市民が観光をするかということ、市民は観光地に住んでいるので、たくさんのお金を使って何かお土産品を買うというのは、日常的にはないことだと思うのです。そうすると、日光街道ニコニコ本陣が浮かぶのですが、失礼なことを申し上げますが、正直、良いものが造られたとは思っていません。日光街道ニコニコ本陣のホールを使うときに、ほとんど土日の利用となると思うのです。観光客の方も土日にはいらっしやっているので、駐車場が埋まってしまい、呼んでもお客様が入れないから土日は使えない。ではあきらめよう。そうすると、日光街道ニコニコ本陣のホールは、商業施設にお客様がいっぱいいてもホール自身は空いているということですよ。逆にホールのために貸し切りにしてしまった場合、お客様が観光で来たときも、駐車場が埋まっていて貸し切りになっているから入れないとなると、商業施設で買い物をする人は減ってしまう。

結局、色々なものを欲張りすぎると、結局誰かが使えなくなって、あまり収益は得られないのではないかなと思います。日光総合会館のことを考えていただくと、一番問題になっていたのは駐車場だったのです。例えば、11月の演奏会が紅葉の終わりに開催されているのですが、東照宮の前というとても良い立地のところにありますので、3時までは、観光客の方が駐車場に車を停めてしまっていて、演奏会を聴きに行きたいお客様が駐車場に停められないということがありました。それなので開演が3時半からとなるなど、東照宮が4時くらいまでやっていることから、観光客の方が3時くらいから帰り始めるので、その出入りや駐車場の収益も考えて地域で話し合った上でこのような時間帯で演奏会が開催されていたのです。それでも、日光総合会館には、観光施設も商業施設も入っていないのです。ホールと会議室の造りだけになっているので、観光客の方が日光総合会館を使うとしたら、トイレと道案内で尋ねる程度しか使っていなかったのです。それでも演奏会をすると3時から4時までの間は貸し切りとして一般の観光客の方が入れないようになっていたりしました。

複合施設がなくても、観光地の近くであると会館の駐車場が使えないということになりますので、日光街道ニコニコ本陣の件もありますから、そのようなことも考慮していただいて、色々なものを複合すると

というのは2か所もいらないと思います。それでも複合するのであれば、800席の文化会館であれば利用者のためだけに停められる800台分の駐車場の確保が必要。文化会館が山の上にあつたら観光業は生かせないと思うのです。文化会館の利用者はそれでも行きますが、観光客は来ないと思うのです。それこそテーマパークでも造らないと無理だと思うので、私も委員Aの意見と同様に、分けて考えるべきだと思います。」

委員C

「業務委託は、どういう会社に委託するのですか。」

事務局

「あしぎん総合研究所に委託しています。」

実は、資料2の方で、付帯施設について様々なご意見等くださいということとしていたのですが、資料の説明をさせていただく前に、付帯施設の意見をいただいております。基本的には、先ほどから申し上げているとおり、決めているわけではなくて、色々な可能性を検証した上で、何がベストなのか検討するという話なので、複合施設が初めから前提としてあるわけではなくて、MICEを誘致する施設があつたらどうか、こういう機能を使って日常的に使われる機能があつたらどうか、前回の市民委員会の意見でもあつたように、日光という知名度を生かした施設としたらどうかというご意見をいただいていることから、具体的に何がベストなのかということをご委託により整理していきます。

複合施設ありきで観光施設や商業施設があると決め打ちしているわけではありません。委員Gの話にもあつたように、文化を前提におきながら、どういう機能を付帯すると効果的な施設となるのか。そこで皆様の意見を伺いながら委託業者と調整をしながら整理していくという流れですので、市の方でこれが決めであるからということではないということをご理解いただければと思います。委託業者に皆さまのご意見を伝えながら何が適切なのか。様々な意見が出ましたのもれなく伝えた上で、どういう施設としてあるべきか。もしくは単体の施設であるべきか。ということも選択肢のひとつでありますので、収益施設によるランニングコスト低減も一つの考え方で、決めているわけではないということをご理解いただければと思います。」

委員C

「皆さん同じ考えなのでしょうけれども、市の方々は運営側ですからお金の話が出てきて、我々は使用者側ですから使い勝手の話が出てきて、この業務委託をするにあたって市との委託ですからそこでの話し合いになってくると思います。我々が一番怖いのは、運営側と委託側だけでももちろんこちらの意見もある程度反映はされると思うのですけれども、コスト面で話がどんどん進んでいってしまうと付帯施設ありきになってしまうと思うのですけれども、今日の話聞いてみると、使用者側は、本当にあまり余計なものがないほうが良いのではないかといいところ、どうしても日光街道ニコニコ本陣が出てしまうのですよね。日光街道ニコニコ本陣は駄目でしょうというのが、日光市民の中には強くあるから、できれば委託事業者との話し合いのときに、全国の事例の中で駄目だった事例についても集めて精査していった方が良いのかなと思うので、そのような事例も集めていただきたいと思います。」

事務局

「資料2にも記載しているのですが、新文化会館に委託する内容というところで、全国の先進事例、将来人口動態に基づく検証、地域特性、課題の把握など今のような複合化が駄目だという課題もあるということも整理してもらおうという内容となっております。」

2に付帯施設に関する市の考えというところで、1番目に観光誘客、産業振興の視点というところがあつて、文化会館3館には、地域交流の拠点的な性質もあつたことから、集会機能の導入可能性についても検討し、産業振興、観光振興、地域交流というところで何がベストなのかというのを整理していくとい

うのがあって、その中で、調査業務の内容や付帯施設について委員の皆さまのご意見をお伺いし、可能な範囲で調査業務の内容に反映させていきますという流れですので、結果として今皆様から頂いた意見は、そのまま委託事業者に伝えます。その上で、何が適切なのかというのを2月までに整理したいと考えます。」

委員G

「資料2に行く前に確認したいのですけれども、今の文化会館のスケジュールとは関係ないのですが、資料1-3で令和9年に工事発注するとなると、完成は、令和11年頃になるのですか。」

事務局

「現時点で色々なことを考えると、そのようなかたちなのですね。ただ、そこまで待つといいものなのかというのは甚だ疑問で、少しでもスピードアップしなくてはいけない。ですから、決定事項というものを早めに決めていきながら、例えば、来年度、基本構想というステージですけれども、基本計画ということで対応できないか整理する必要があります。1年でも2年でも前倒ししたいと考えておりますけれども、他の自治体の事例に基づき整理した事例になっていますので、市としては、迅速性を高めて前倒しということを考えております。」

委員G

「これでいきますと、今から7年後ということになりますよね。日光総合会館を閉鎖して専門部会の中で提言は出ているのですけれども、そちらに手を着けるのは、いつぐらいになるのですか。」

事務局

「今のところの想定なのですが、基本的な考え方を整理したら、日光と藤原の跡地利活用についても並行して進めていきたいと考えております。」

委員長（議長）

「基本的に今の段階での検討内容を整理すると、あくまで文化会館を造るということを大前提とし、それに対して付帯施設をどういう方向に持っていくのかというのが市民委員の皆さまに課せられた宿題であると思いますので、他に何かありましたらご意見をお願いします。」

委員I

「私は、先ほど皆さんがおっしゃっていたように、文化会館の機能を最優先するべきであると思うのですね。それに加えて、付帯施設については、レストランの併設なんか良いかと思います。市民の方についても観光客の方についても、駐車場も広いし、レストランも素敵だからそこに行ってみようとなるような設備も良いかと思うのですね。実際に、今市文化会館のレストランが無くなったときに、お昼をどこで食べようというような話がたくさんあったのですね。そのような、文化会館に必要なものを文化会館と一緒に造っていただけるとありがたいなと思います。ただ、周りの飲食店の方には申し訳ないのでこういうことをお話しして良いか分かりませんが、会館の中に飲食店があると、お客様は便利な場合が多々あります。後は、文化会館に本当に必要なものを造っていただきたいなと思います。」

事務局

「第2回のときに、他の自治体の例示を出ささせていただいて、文化会館単体で造っている自治体はほとんどなく、他の施設と複合しており、そこにはレストランもあったと思います。イメージとしては、そのようなことを考えていて、文化会館としてレストランも必要だよなというようなご意見もあれば、何が文化会館に来たときに必要な施設ということも検討した方が良いのではないかとすることを委託の中では検討していきたいと考えております。ちなみに、前回の資料1-3で近年どんな規模の施設が造られたか

という資料を提示させてもらっています。例えば、五泉市のラポルテ五泉というところでは、多目的ホール、産地触媒スペース、イベントスペース、子どもの遊び場と複合している。養父市のやぶ市民交流広場は、公民館や図書館が併設されているということで、現時点においては、文化会館単体の整備の実例はほとんどなくて、そのようなことで付帯施設について議論をして、2月までに整理をさせていただければと思います。」

委員長（議長）

「話の方向性としては、文化会館を最優先としてどういうものを付けていくかという具体的な意見を聞いていかないと方向性が定まっていけないと思います。様々な意見を出していただいた上で、その意見を踏まえて足したり引いたりしていくことで方向性が決まっていくと思います。2月までの検討に向けて、皆さまから出た意見も思案していかないと方向性が定まらないと思うので他に意見がありましたらお願いします。」

委員J

「実際に向かっていくのは、ここで出た意見からの引き算ですよ。私も色んな全国の施設を周っております。その中で、単体の施設は、そのときくらいしか使われないですよ。何かあるときくらいしか使われないです。そんな施設はいらないなと思っています。」

ただ、複合施設といっても、観光の話で渋滞やなんやらという話ではなくて、観光誘客に関しては、ホールがないと事業的には何も誘客できなくなりますよね。そういった意味での観光誘客というのは、絶対必要ですし、もうひとつ、ぜひ入れてほしいのは、子育て関係というのを非常にに入れていただきたいなと思います。子育ての施設を行政が民間と一緒にやってつくりあげているような子育てにやさしい地域でなければ、今の親世代は、どんどん引っ越してしまいます。日光市から出ていきます。そんな中で、ひとつ子育てというものをメインにしても良いのではないのかなと思います。そうしないと、日光市は、持続可能性がなくなってしまうのです。今でさえ非常に危ぶまれているのに、これから先、子供を産んで育てたいなという地域でなければ、誰もこの日光市に移住してこないし、日光市民もどんどん外に出てしまいます。親世代は、今の段階でも宇都宮に住んでしまっている人がかなりいるのですよね。宇都宮に住んで日光で仕事をしている。何故かといったら、教育がと言われます。そんな地域では、これから先やっけないので、子育てというものも一つ念頭に置いていただき、子育てを中心とした地域交流にすれば、すべての世代が地域交流できるのですよ。ただ、子育てを省いてしまうと、どうしてもこれからの世代に受けないと思うのですよね。そういったところを取り入れていただくと助かるなと思います。」

ただ、商業関係、工業関係、観光関係というものは、立地的なものが非常に左右されるかと思っています。商業地域の近くに商業施設を入れても、地元から反感を買うだけです。ていうので、立地的なところをどこに建てるかということによって、複合施設の在り方というものが大きく変わってくると思いますので、ぜひその辺も考慮していただきたいと思います。」

委員G

「前回の資料1-3にありますように、ギャラリーとかはありますが、私は賛成できないですね。ペイできないと思います。私は、日光地域と観光のあり方を考えると、日光で非常に不足しているものがあるのかなと思います。日光が世界遺産に指定されていますけれども、県も市もサボっているように思うのですが、世界遺産センターのようなものがないのです。例えば、平泉は県や市が真っ先そのようなものを造るのです。つまりそれが何かというと、観光のあり方を変えようとしている。単なる社寺を見学して終わりではないのですよね。いかに滞留時間を長くして観光の深化を図る。学習の深化を。日光には修学旅

行生が来ておりますけれども、ただそれは、社寺を見学しているだけなのです。ですから、例えばある小学校が来て社寺を見学する前に「ここがこういうものですよ」としっかりアピールできるものがあって初めて観光というものが成り立つのかなと思うのです。この日光には、ラムサールで登録された奥日光には自然博物館があります。ところが、日光の社寺については、社寺におんぶに抱っこで何も造ろうとしない。観光のあり方を変えていくのだ。世界遺産だといっても何にもならない。ただ見学して終わりではダメかなと思います。

ですので、ホールはホールでしっかりと確立させる必要はあると思うのですが、それだけではなく、付帯設備については、世界遺産センターも良いと思います。施設整備は、国、県、市の協力でできると思います。人件費がかなり掛かることから県の協力を得るとか、色々考えて、ここでもしも日光市が新しい付帯施設を造るとするならば、同じ建物を大きくすればその中に入るのですよね。ですので、ホールはそのまま文化的な施設として、それだけでなく、観光地にある文化的なものを考えていくのが必要なかなと思います。」

委員A

「複合施設としての付帯施設ではなく、ホールの中の付帯施設ということでカフェテリアとかを併設しているところは割と多いです。そのようなところだと、運営自体は、同じ指定管理者等が運営していて、その場合、例えばホールの中のケータリング関係は、そのレストランを通さなければなりませんというかたちであっせんしているところもあります。後は、ちょっとしたお土産を取り扱っているところを併設して、グッズやCDを販売しているところはそこを通るようにしているところもあります。」

委員J

「市内の業者からすると大反対です。ということで指定管理がどこの事業者になるかということで、指定管理者がすべて市外の事業者になったら最悪なことになってしまうと思います。（あっせんが、）市内の事業者という括りであれば良いのですけれども、指定管理者との繋がりだけに合わせるというのは、すみませんが大反対です。」

事務局

「運営方法についても、今回の委託の中で何が適切なのかというざっくりとした方向性を示した上で、基本構想の中でも運営をどうするかというのを、やはりハコを造るだけでなく、運営がポイントになるかなと思います。より皆さんが使いやすい運営は何なのかというのもご意見をいただきながら、来年度、詳細な部分に関しては、整理していきたいと考えております。」

西尾真治総合アドバイザー

「今回の複合化とか付帯施設の話については、資料1-2の特別委員会からの意見にもあるように、公共施設マネジメントという観点から出てきている話なのかなという風に思います。そういう意味では、公共施設マネジメントというのは、今まで各自自治体が、自分の財政の規模以上の施設を造ってしまった結果として、すべての施設を維持できない状態になってしまったものを何とかしていこうというのが公共施設マネジメントになると思いますので、新たに造る施設に対して、色んなことを上に付けていくような話ではなくて、例えばここにある中央公民館ですとか、既存の施設を複合化して一つの施設として整備することによって、それぞれの施設をすべて建て直すよりは、集約することによって効率的に施設を整備して運営していこうという発想があると思いますので、そういう観点は、頭の片隅に置いていただくと良いと思います。」

関連して2点目なのですが、こういった機能を複合化していくありきの話ではないと今日の議論の中であったと思います。何のために検討するかというと、私は2つかなと思っておりまして、1つは、

施設の利用率・稼働率を上げていくという話なのかなと思います。せっかく造った施設が全然使われない施設になってしまっただけではもったいないので、どうしたら利用率を上げられるかということが1つの考え。もう1つは、これも今回の議論で出ておりましたけれども、これからの施設は、公共施設とはいえ、できれば稼げる施設で生み出された収益を運営経費として回していければ、より高い機能の施設を造ることができるかなと思います。いかに利用率を上げていけるのか。もしくは、稼げる施設にしていくのか。そのためにどのような機能を付加していくことが望ましいのかという順番で考えていただけると良いのかなと思いました。

今日の議論を聞いておきますと、観光誘客という機能は、かなり慎重に議論しなければならないのかなと思います。稼げる施設にするということでは、非常に重要な視点であると思いますが、一方でそれが駐車場問題に繋がることで利用のしやすさとバッティングする概念であるということも分かってきたと思いますので、そこは慎重に考える必要があるかなと思いました。ただし、観光誘客というところを、稼げる施設というところをあまり考えずにその機能を小さく見ていくということになると、今度はそれで利用率・稼働率を高められるのかということが出てくるかなと思います。そうすると稼げる施設でなくても利用率が高められる施設となると、規模を小さくしていくということにもならざるを得ないかなと思いますので、そこはバランスを考えながら検討していくということが大事であるかなと思いました。

もうひとつですね、委員Jから非常に良い話があったのですが、子育てとか地域づくりとかの観点で文化会館を考えていくということも非常に大事であるかなと思います。先ほどの利用率や稼げる視点で考えなければならないということも申し上げたのですが、それと相反するところはあるかもしれませんが、地域づくりとか、どんな人づくりに繋げていきたいかは、文化政策そのものになるかなと思います。文化会館は文化政策そのものを実現する施設であるかなと思いますので、日光としてどんな人づくりをしていきたいのかという観点から、より効果的な複合機能にしていくべきか検討事項の1つとして入れていただきたいかなと思いました。

最後に、これから委託をしていくということで、全国の事例を研究していくということは良いかなと思います。前回の資料1-3の表のようなものも基礎的な資料としては必要だと思いますが、もう一步深い先進事例の情報が必要かなと思います。特に、今回議論になっているのは、どんな機能を複合化すれば良いのかということが議論になっておりますので、各先進事例の中で、機能の導入や決定をどういう過程で進めてどう決定したのかということも深掘りして調査していただくと良いかなと思いました。とりわけ、その中で次のような視点というのを明確にしておく調査が有効になるかなと思います。1つは、観光という機能を文化会館と上手く融合できるかというのが大きな論点であるかなと思いますので、そういう観点で先進事例を調べていただくと良いということと、立地と機能はセットで考えるべき問題であるかなと思いますので、日光市でそれを考えるためにも先進事例において立地と機能をどう整理されたのかということも調べてみると良いかなと思います。

もう1つは、駐車場問題で、最大の問題が駐車場かなとお聞きして感じたところではあります。これは、観光機能とも結びつくところであるかなと思うのですが、先進事例において、この駐車場問題をどのように捉えていてやってきたか。このようなどころの視点を明確にして調査を進めていくと良いかなと思います。

加えて、これらの先進事例が当初目論んだとおりにいっているのか。上手くいっていないということもあるのではないかなと思うので、そこもぜひ調査していただきたいかなと思います。

視点を明確にしておかないと、表面を触っただけの調査ですと、あまり参考にならないかなと思いますので、そこを深掘りしていただきたいかなと思います。」

山本康友総合アドバイザー

「複合施設の選定という中で、付帯という話があったのですけれども、ホールでは、椅子型と土間型で分かれておまして、文化施設そのものを色々な用途に使うことも行っているのです、その検討もおそらく必要なのではないかと思います。その中で、バンケットにするなど文化施設そのものを多機能的に使うことによって利用率を上げるというやり方をしているというところもありますので、これも検討の余地があるかなと思います。

次回の2月で整備に関する基本的な考え方が出てくるので、一応この時代ですから、地球温暖化の影響が非常に強いので環境面に対しての配慮を基本的な考え方に入れてほしい。また、特に高齢者の方が増えてきますから、バリアフリーのような考え方も当然、この文化施設には入れていただきたい。それから、西尾先生からあったアクセス性ですね。駐車場台数を含めたアクセス性。財政的にやさしい施設というのもし入れなくてはならないかなと思います。また、可能であれば、東日本大震災のときに多くの文化施設が災害拠点となったものですから、その可能性の可否も考えた方が良くないかなと思います。

最後にもうひとつ。先ほどの話の中で、本当に良い指摘だと思ったのですけれども、子育て支援ですね。これは、ほぼ成長している都市は、子育て支援に非常に重点をおいていて、非常に発展しています。それから、子育て支援を中心に複合施設にしているところは、かなりの集客をしています。これも非常に大事な視点であると思いますのでその点の考慮もした方が良くないかなと思います。」

委員J

「稼げるというところなのですけれども、日光市は、外からお金が入ってくる地域なのです。ただそれが、直接外に出てしまう地域なのです。日光市は、域内の循環率が非常に悪い地域なのです。なので、複合施設を子育て一本にしたとしても、市民から100円でも200円でも取れるようなかたちで、いかに市内の中で、交流も経済的などところもどれだけ循環できるかが非常に重要なのだと思います。その循環を高めるためにこの文化会館を複合施設として、外から呼ぶだけという観点でなくて良いと思います。地域の中で循環できる文化施設を造れば、自然と他から人が来るのですよね。そこは、面で考えても面白いのではないかなと思いますので、稼げるという点は、そこだけを見ないでほしいなということを思いますのでよろしくお願いします。」

委員長（議長）

「以上で本日用意された議題については、終了いたしました。議事進行にご協力いただきありがとうございます。それでは、進行を事務局にお返しします。」

4. その他

事務局

「今日は、かなりご意見をいただいたので、その内容を委託業者に伝えながら何が適切なのかというのを整理していきたいのですが、一旦整理した上で、議会と協議を回ってまいります。次回2月の第4回まで期間が空きますので、その結果を整理して委員の皆さまに周知しますので、漏れやご意見等ありましたらご意見いただければと思います。さらに、委託の中で考えるべきだという意見があれば事務局までご連絡いただければ、反映しますのでよろしくお願いいたします。」

これをもちまして、第3回日光市文化会館等あり方検討市民委員会を終了いたします。ありがとうございました。」

以上、本議事録の内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

令和4年12月2日

議事録署名人

高橋 祐也

議事録署名人

堀田 晋一